

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第9回 理事会議事録

日 時：2015年 9月 29日（火）19：00～22：00

場 所：コンセーレ アイリスホール

出席者：

- （ 理 事 長 ） : 須山（敬称省略 以下同）
（ 直 前 理 事 長 ） :
（ 副 理 事 長 ） : 澤畑、福田（之）、廣田、太城、中島
（ 専 務 理 事 ） : 金
（ 監 事 ） : 篠崎
（ 担 当 常 任 理 事 ） : 羽石、飯野、鈴木
（日本 JC 委員会特別委員長） :
（ 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ） : 小瀧
（ 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ） : 豊崎
（ 事 務 局 長 ） : 飯沼
（ 委 員 長 ） : 辻、渋谷、篠原、増淵、宮林、福田（弘）、山田、木村、飯塚
（ 局 次 長、副 委 員 長 ） : 間島、新妻（代理）、柿沼、相田、吉田、小野（代理）菊地、
中嶋、板林、佐藤、南木、菅沼（代理）
（ 準 理 事 会 構 成 員 ） : 加賀田、亀井
（オ ブ ザ ー バ ー） : 阿部、土谷、川上、小林、関、落合、河村、稲見、八下田、
小野（知）、片岡、金子、鈴木、竹井、平出、福田（治）、福田（夕）、
熊本、永島、大塚、安生、大竹

1. 開会宣言 <金>（役職名省略 以下同）
2. JCI クリード唱和 <山田>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <増淵>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <宮林>
5. 関東地区宣言唱和 <渋谷>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>
議事録署名人

須山裕史
篠崎達彦

8. 前回議事録の確認 <金>

9. 議題並びに資料の確認 <飯沼>

10. 2015年度理事長挨拶 <須山>

公開理事会にこうしてたくさんの方にお集まりいただきましたことを心から感謝申し上げます。公開理事会はこうして名前を付けていますけれども、実はいつ来ていただいてもいいような仕組みになっています。ただいつ来てもいいですという皆さんこないで公開理事会という名前を付けさせていただいております。2月と9月の二回やってみようということで新しい取り組みとしてやらせていただいております。まず、総務委員会、渉外委員会の皆様、設営ありがとうございます。このように机を並べたりすることも、総務、渉外の皆さんが早くに来て私たちが当たり前のように会議ができるようにしてくれています。さて、9月はいろいろあって盛りだくさんだったと思います。50周年準備例会ということで大変お疲れさまでした。私は公務で参加できなかったのですがどのような感じでしたか。

<福田(弘)>来年の50周年に向けて、前半はLOMの歴史を振り返り、委員会で調べたことを発表させていただきました。第2部に関しては飲食を伴う内容で、未来の宇都宮JCの事業について話し合っていました。こちらに関しても活発に意見を交換していただきました。まとめた内容に関しましては委員会をまわりアンケートをまとめて今後報告にまとめます。まとめた内容に関しましてはホームページに掲載させていただきます。

ありがとうございます。なかなか飲食を伴う例会というのも何とかまとまってよかったと思います。あとは、栃木フォーラムがあったということでお疲れさまでした。その他では豪雨災害が気になったところがあります。私は日本JCに出向ということでボランティアに行けなかったのですが、行かれた方、手を挙げてみてください。結構いらっしゃいますね。肉体的にも大変だったと思います本当にお疲れさまでした。皆さん鹿沼に行かれたのですか。ケーズネットというものがあまして、関東地区で災害などが起こると、関東地区に158LOMあるのですけれどもそこが連携して助け合おうということをしております。いままでに出たのは東日本大震災はもちろんのこと、久方ぶりにこのケーズネットというものが発動されました。栃木県内被害は大きくないという話ですけれども鹿沼だったり真岡だったりというところで局地的には被害がとても大きかったのかなと思います。それ以上に常総市では今も被災地において復旧活動が行われていますけれども、本当に災害というのはいつ起こるかわかりませんし、起きたときには助け合うネットワークがJC内にあるということは素晴らしいことだと思います。行かれた方は本当にありがとうございました。もう一点はダンス事業ということでありましたけれども、相田副委員長報告をお願いします。

<相田> 皆様のご協力のもと、9月5日ダンス合戦が無事遂行することができました。過去類を見ないような内容でしたので、いろいろありましたが皆様のおかげで盛大に行うことができました。このことを次年度に引き継げるように資料をまとめて報告したいと思います。メンバーメーリングでアンケートを流しておりますが回収が少ないのでご協力をお願いします。

最後に全国大会のことについて述べたいと思います。八戸に行かれた方本当にお疲れさまでした。私達も全国大会を目指すLOMとして多くの学びがあったのではないかと思います。昨日中島次年度が第1回理事予定者会議を行っていましたが、その中で宮崎JCが主幹を獲得されたとおっしゃっていました。宮崎JCは2月から仮立候補をせずに準備を始めていました。このことについては賛否両論ありますが、誰にでもチャンスがあるというように捉えていただければと思います。私達も仮に手を挙げていればわからなかったということですね。本年は準備不足というか、もう一年力を蓄えようということで見送りましたが、2016年以降私たちの活動というものを力強く発信していけば、何年かかるかという議論もありますが一発で取れるということもあるということですね。そこまでもっていくプレゼンの中身、私たちの何を発信するか、地域益、LOM益、主幹益、会員益いろいろなのがあると思いますが、ここをしっかりと準備していけば主幹の獲得ということができるのだというように思いますので、2015年度は断念をしたわけでありましたが2016年以降しっかりと準備を進めていければと思います。そして先ほど入会候補者と理事長面談をしてまいりました。今日の審議が可決となれば28名の新しいメンバーを迎え入れたこととなります。ここで終わりではなくて30名という目標を掲げていますので、宇都宮の未来のために是非とも拡大メンバーを増やしていただければと思います。最後に一つだけ話をします。普段我々はJCとして活動をしています。今日は理事会という場ではありますけれども、もしJCが宇都宮になかったらということを考えていただきたいと思います。片岡さんどう思いますか。

<片岡> 宮まつりがなかったのかなと思います。

ありがとうございます。拍手を。次年度理事の河村君。

<河村> 私も宮まつりと思いましたが、それ以外にまちの発展がなかなかないと思います。

拍手を。先ほど名前を飛ばしてしまった竹井さんと金子さんいかがですか。

<竹井> 先ほどもありましたようにまちを盛り上げる活動に続いてですが、わんぱく相撲のように子どもたちに楽しさとかやりがいを見つけられるような活動もなかったのかなと思います。

<金子> もしJCがなかったら、JC卒業生とのつながり、宇都宮市長誕生もなかったのかなと思います。

ありがとうございます。J Cという団体はよくまちづくりをする団体といわれていますが、他の団体に比べて一番きついですね。これほどまちづくりに対して熱意をもって取り組んでいる団体はいないわけでありまして。もしわれわれがいなければ誰かがまちづくりを推していかなければならないのですが、それが行政であるとか地域の自治体であるとか、もしかすると政治家の皆さんがやってくれるのかもしれませんが、やはり人任せではいけないということです。私たちは40歳までで卒業であります。そこまでに力を発揮して、所信にも書きましたが限られた時間ですから、自分を高めまちに恩返しをしていく。これがJ Cの魅力だと思います。その中で人づくりや仲間ができたり、社会開発などいろいろな要素があるわけですが、つまり、J Cに元気がない地域にはまちに活気がないということです。私たちはなぜ拡大をしているかという、今150名でまちをよくしようという活動をしているわけですね。これが30人ですと波及効果が少ないです。単純に会委員が倍の300人いて、会費も倍になるとすればできる事業も倍大きなことができるでしょうし、300人が同時に動けばいろいろな可能性が出てくるわけでありまして、拡大というのは非常に重要であって、まちをよくしようという人間が増えれば必ず宇都宮というまちもよくなっていきます。その中核にあるものがこの理事会でありまして、皆さんがいろいろな委員会に所属している中で、事業例会の中身について議論をしよう、会議をしようのがこの理事会であります。2部構成になっていて、一つ目は審議という項目で今まで培ってきた会議の中身に関してゴーサインを出すというものです。合議制で全会一致をもってこれから運動に取り掛かろうということになります。協議というものは、今これからどのようなものにしていこうか話し合うもので、いろいろな抜けがないか、運動の方向性が間違っていないかということを確認する部分であります。このようなところに主眼を置いてみていただければと思います。まちをよくするということは他人任せではなくて私たちが引っ張っていかなければいけないと思いますという話をしましたが、その中身に関してはこの理事会でしっかりと揉んで結論を出すということです。J Cに入ったならば是非この理事というものを目指していただきたいと思います。年数を重ねてなれるというような単純なものではなく、自分たちが所属している委員長、副委員長の方がいらっしゃいますけれども、その方たちの立ち振る舞いを見ていただいて、そのようにして自分たちの事業例会が作られていくのだと感じていただければと思います。もしわからないことがあれば、懇親会もご用意しておりますのでその席で委員長、副委員長に聞いていただいて今日オブザーブしていただいているみなさんも是非とも理事を目指していただきたいなと思いますのでよろしくお願いします。

1 1. 直前理事長挨拶

村上直前理事長欠席のため割愛

1 2. 役員報告

渋江委員長より全国大会八戸大会への参加のお礼と金沢世界会議の案内。

木村委員長より菊水祭への参加のお願い。

13. 審議事項

審-1 第113回通常総会 開催報告並びに決算（案）承認の件
審議資料に基づき、辻委員長より上程文の読み上げ

<宮林> 委員長所見の中の案内が至らなかったというのはしなかったのか足りなかったのかどちらですか。

<辻> 委員会でスケジュールを組んで、メーリングなどにおいても呼びかけていましたがあまりできませんでした。

<宮林> 言葉をしなかったことが至らなかったと直した方がよろしいと思います。

<辻> 案内をしましたが至りませんでしたという意味でした。

<宮林> そのように変更していただければと思います。

<辻> 案内が不十分だった結果だと思います。そのように修正させていただきます。

<須山> 総会の議事録の作り方についてこの内容であれば経過を書いているだけで議事録ではないと思います。今後は審議対象資料として扱い挨拶の中身に関しても記載していただき、総務委員会の引き継ぎとして次回以降やっていただければと思います。先ほどの変更点を考慮していただいて審議に移りたいと思います。第一号案件、賛成の方は右手挙手をお願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<須山> 全会一致を持ちまして第一号案件審議可決といたします。

審-2 7月 メディア例会 開催報告並びに決算（案）承認の件
審議資料に基づき、飯沼事務局長より上程文の読み上げ

<須山> 予算につきまして法令会計審査局をお願いします。

<豊崎> 特段問題ございません。

<須山> フォーマットがずれているので問題があると思います。後ろにまわしますのでそこま

でに対応してください。

<飯沼> 後ろに回していただけるのであればそれまでに修正して改めて審議していただければと思います。

審－3 10月 食育事業 開催計画並びに予算（案）承認の件
審議資料に基づき、中嶋副委員長より上程文の読み上げ

<須山> 常任何か補足があれば。

<鈴木> タイトルに不備があります。訂正させてください。

<須山> 審議に移ります。賛成の方は右手挙手をお願いします。白紙の方、反対の方。

<飯沼> 全会一致です。

<須山> 全会一致を持ちまして審議可決といたします。オブザーブの方もいらしていますので是非PRをお願いします。

<中嶋> 審議可決ありがとうございました。10月食育事業、第1回の議案上程の時に餃子の皮にバターを塗りジャムを塗る、本当においしいのですか。という質問から始まり、いよいよ本日を迎えることができました。このジャム餃子、本当においしくてですね、200食用意しまして製作体験を楽しんでいただくことになっております。当日の参加者の笑顔が思い浮かぶところですが、まだまだ準備がありますので、一番はこの事業の目的でもある食に関する知識を深め興味を持っていただくことですので、残りの期間ぶれることなく準備をしていきたいと思っております。

審－4 10月 まちづくり例会 開催計画並びに予算（案）承認の件
審議資料に基づき、板林副委員長より上程文の読み上げ

<須山> 常任補足があればお願いします。

<鈴木> 本議案に対しましてたくさんのご意見をいただきましたことにお礼を申し上げます。また先ほどのアイリスホールですが2階ではなく3階です。訂正させていただきます。

<須山> 予算につきまして法令会計審査局いかがですか。

- <豊崎> 特段問題ございません。
- <羽石> 議案の前に差し替えのデータが回ってきたのですがこれに対して説明がないようですがこれは、事務局ですかそれとも担当委員会ですか。
- <飯塚> 出向者会議の中身が差し替えになってしまい、冒頭で説明させていただくべきでした。
- <羽石> 皆さんがこのデータを持っていればよろしいかと思いますがその確認を事務局長お願いします。
- <須山> 議案が回りきっていないようなのでいったん休憩いたしまして、何が差し替えになったか飯塚委員長にさせていただきます。
- <飯沼> いましがた会員拡大会議からも差し替えのメールが届いております、その辺りに関しても特別委員長から説明あればUSBを回しますのでお願いします。
- <飯沼> 差し替え議案が発生しておりまして、審議事項4番10月まちづくり例会と協議事項4番新入会員認証の2議案について、本日理事会開会前、開会中に差し替えの依頼をいただきまして、アジェンダの差し替えを今やっております。また、USBも何本か作っていますのでアジェンダを見る方ができない方は言ってください。
- <須山> 正式な事業名は何ですか。
- <飯塚> 10月まちづくり例会みやハロプロジェクトです。
- <須山> 予算書の表記が間違っていますので訂正してください。
- <相田> 審議対象資料の20番の誤字の訂正をお願いします。
- <板林> 訂正させていただきます。
- <須山> アンケートの題名も正しい方に訂正してください。
- <板林> こちらも～という表記を削除させていただきます。
- <渋谷> 審議対象資料24番項の事前申し込みフォームと審議事項13番項のチラシに違いがあるのはなぜですか。

<板林> ポスターの資料を新しいものに差し替えます。

<須山> いつ変更しますか。

<板林> すぐ変更します。

<須山> 審議となっていますのでどうしますか。

<鈴木> 後に回していただいてすぐに修正いたしますので審議していただければと思います。

<須山> 修正点が多すぎて難しいと思います。一度落とした方がよろしいかと思います。

<廣田> 理事会開始前に議案の差替えがあり、理事長がおっしゃるとおり修正点も多く審議に値する議案ではありません。よって本日の審議を取り下げさせていただきます。

<須山> 審議事項4番項は審議格下げをさせていただき、協議事項5番項に移させていただきます。できるかぎり先ほどの指摘を修正していただき協議の時に審議をいつ受けるかも含めて話していきたいと思います。

審-5 10月 全国大会関連事業 開催計画並びに予算(案)承認の件
審議資料に基づき、菊地副委員長より変更点の読み上げ

<須山> 常任、補足があればお願いします。

<飯野> 特段ございません。

<須山> 法令会計審査局、いかがですか。

<豊崎> 特段ございません。

<木村> 15分の全国大会の映像を放映するならば委員会回りの時に見てもらい意見が出やすい状況を作ってはどうか。また、意見の多かった質問をランダムに答えていくのではなく、委員会ごとの質問に変えた方が良い意見が出るのではないかと思います。

<菊地> 要約した資料を委員会回りの時にお渡しし説明して、当日には映像を見ていただこうと思っています。

<木村> 冒頭、理事長からあったように今年は全国大会に対して手を下げざるを得なかった原因のひとつに準備不足ということがあったが、小会議が理事で構成されていることなどメンバー一人ひとりに全国大会の意義が伝わっていないことがあると思います。15分の質疑応答に関しても各委員会で練られたものが出された方が有効に時間を使えると思います。

<山田> 映像に関してですが、全国大会に参加できないメンバーも多数いる中最初の15分で視覚的にとらえていただき、その後講演に移ればと思っています。質問の形式に関しては、委員会回りの時に出ていた質問の中で一番多いものを司会者から質問して、その後質疑に移るようにしたいと思います。

<須山> 木村委員長の言いたいことは、委員会回りの時に、映像を使うか、資料を使うかは別として、メンバーにしっかりと理解してもらえればよいということだと思います。内容に関しては委員会でも話し合っていたいただければと思います。では、審議に移ります。賛成の方は右手挙手にてお願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<須山> 全会一致を持ちまして審議可決とさせていただきます。

審-2 7月 メディア例会 開催報告並びに決算(案)承認の件

<須山> 7月メディア例会開催報告並びに決算(案)承認の件、審議を再開させていただきます。先ほど指摘しました決算書に関しまして、法令会計審査局いかがですか。

<豊崎> 確認いたしました。問題ございません。

<木村> 委員長所見の、ですが、という言い回しなどを精査してください。

<篠原> しかし、に替えさせていただきます。

<須山> この一文自体がいらぬのではないですか。

<篠原> 削除させていただきます。

<中島> メディア例会に限ったことではないのですが、報告議案の中で引き継ぎがありますが、予算、運営上の反省はよく出るのですが、事業目的に対してこうした方がより達成できたというような運動に対しての引き継ぎも入れていけるようにしてください。

<須山> 審議に移らせていただきます。賛成の方は右手挙手でお願いします。

<飯沼> 全会一致でございます。

<須山> 全会一致を持ちまして審議可決とさせていただきます。

14. 協議事項

協-1 第114回通常総会 開催計画並びに予算（案）について
協議資料に基づき、辻委員長より上程文の読み上げ

<木村> 開会時間に関しては決まっているものですか。前回開会が遅れたのであれば、月末ということもありますし遅らせてもいいのではないですか。

<辻> 19時半開会ということも過去ありましたが、今回は19時にて開会を予定しております。

<金> 19時でないといけないという理由を述べてください。ないのであれば委員会に持ち帰ってください。

<飯沼> 補足ですが、通常理事会も19時開会となっておりますし、過去19時半、20時という開会時刻もありましたが開会が遅れるということもありました。結論としては開会時間がいつであるかではなく事前の定刻開催、出席率80パーセントになるような動員をかけることが重要ということにいたしました。

<須山> 先ほど言いました議事録を検討していただいて中身のあるものにしていただければと思います。

協-2 11月 対内研修事業 開催計画並びに予算（案）について
協議資料に基づき、亀井副委員長より変更点の読み上げ

<相田> 議案のフォーマットのフォントを合わせてください。

<亀井> 確認いたしました。修正いたします。

- <小野> 国史という表現に対してですが、日本史ではなく国史というように表記したのはなぜですか。
- <亀井> 日本J Cの復興グループに国史会議というものがあまして、そちらの方に講義をいただくことになっておりますので国史という表現を使っております。
- <小野> 歴史と国史の違いを一言で教えていただければありがたいです。
- <亀井> 国史というのは日本国の歴史と考えていただければと思います。
- <羽石> 告知にてフェイスブックを活用するとのことですが、誰に対してのものになりますか。
- <亀井> メンバーに対するクローズのページを作ろうと思っております。告知とアンケートに活用します。
- <羽石> クローズであれば、たとえば私がシェアしても知らない人には届かないという認識でよろしければ問題ないです。
- <宮林> 今回の事業をもってリーダーの資質を高めることが目的となっておりますが、なぜ徳育を学ぶことによってリーダーの育成につながるのかを説明してください。
- <亀井> 今回の事業を行うにあたって日本J Cの事業を持ってきたいということで、徳育ゼミナールを選定したのですが、徳育ゼミナールの目的が共感力であったりしまして、内容としても気づき、学び、提言して行動するといってことになっております。それが共感力、想像力、行動力というリーダーとしての資質の向上につながると考えまして、今回徳育ゼミナールを選びました。
- <相田> アンケートの25部というものがどこにおいてあるかということと、アンケートの回答時間を事業内に設けているのかをお聞かせください。
- <亀井> 25部はアンケートのお願いということで各テーブルにおき、受付、出入り口で25部になっています。時間に関しては司会者からアンケートを促すことは考えていますが、特に時間を切るというようには考えていません。
- <福田(弘)> スマホではない参加者に対しての対応はどのように考えていますか。
- <亀井> URLを案内のプリントに掲載しているのと、自宅に帰ってからも回答できるということでwebアンケートにしております。

- <宮林> 当日配布資料の誤字を確認してください。
- <亀井> 先方から預かったものなので、確認して修正します。
- <中島> 修正点の数字の点ですが、W a r d上ですと問題ないので追って確認いたします。その他の点に関してはご理解いただけたと思いますので、議案上程スケジュールとしては3か月を考慮しておりましたが十分にご協議いただいたということで審議格上げしたいと考えておりますがいかがでしょうか。
- <金> ただいま中島副理事長から審議格上げの動議がありました。セコンドされる理事の方、右手挙手をお願いします。飯沼事務局長、南木副委員長。それでは審議格上げの決を取りたいと思います。審議格上げに賛成される理事の方、右手挙手にてお願いします。
- <飯沼> 全会一致です。
- <金> 全会一致ということでこちらの案件を審議事項6番に入れさせていただきたいと思えます。

協-3 11月 研修例会 開催計画並びに予算(案)について
協議資料に基づき、柿沼副委員長より変更点の読み上げ

- <木村> 対内目的ですが自身の変革とありますが、何を変革するのですか。
- <柿沼> この変革につきましては、対外目的にあるようなことは現在われわれも持っていると考えておりますので、このことを踏まえ、さらにもう一步進むという意味で自身の変革としました。
- <木村> それであるならば、未来のまちのために何を変革するのかということを入れていかないと、文章がおかしくなると思います。そのあとの意識の高揚とありますが、高揚というのは高めるという意味がありますが、対外目的の意識の醸成をとか細かいところを精査した方が良いと思います。
- <金> 今書かれている文言に対して口頭でどのような意図をもって入れているのか注釈を入れていただければいいです。
- <柿沼> 意識の醸成という言葉を使った理由ですが、本来であれば人材育成という我々の目的がありますが、1時間半という短い時間でそれが達成できるかということに関しては疑

間が残ります。その手前の段階である意識を植え付ける、気づきを与えるということで醸成という言葉を使っております。

<金> 対内目的の高揚となっておりますが、なぜ違う言葉を使ったのですか。

<柿沼> 対象であるメンバーに関してはJ C活動をしているという段階で意識はすでに持っていると思い、高めるという意味で高揚としました。

<金> 先ほど木村委員長からあった、何を変革するのかということに対してもう一度ご説明をお願いします。

<増淵> 自身の変革というのは、自分自身が市民の未来のため、未来のまちのために今までと違った視点や、固定概念を覆すような気づき、学びを得ていくことが自己変革につながると思います。

<金> その辺の内容を文言に入れていただければみなさんも疑問を抱かないと思いますので精査をお願いします。

<木村> 背景に目的が入ってきているので精査してください。

<増淵> 表現を精査します。

<篠原> 参加動員の中の70名が栃木ブロック10LOMからという根拠は何ですか。

<柿沼> 先日の栃木フォーラムの時に各LOMの方々をお願いをしまして、3月の例会の時に栃木ブロックから30名の方が来ていただきましたので、委員会としては倍以上の70人という目標を立てました。

<金> 同じPRですとまた30名となりますので、どのようなPRをして70名を達成するかを委員会で話し合ってください。

<福田(弘)> 講演の設えの体験シートとはどのようなものですか。

<柿沼> 部隊の正面に講師と会話ができるような場所を設けまして、質問を投げかけて返答できるようなことを考えております。

<福田(弘)> この設えに実績はありますか、委員会で考えたものですか。

- <柿沼> 実績はあります。こちらの要望も投げかけております。
- <篠原> フェイスブックでの告知の期日の根拠は何ですか。
- <柿沼> 審議後すぐに反映できるようにします。
- <間島> 参加動員計画の表記の精査をお願いします。
- <渋谷> 参加動員計画について3月の研修例会の実績を踏まえて若年層への告知方法はどのように考えていますか。
- <柿沼> 学校だけでなく専門学校や各種サークルなど細かく告知をしていきます。
- <新妻> 脳科学者の中でなぜ茂木氏なのですか。
- <柿沼> 脳科学者であるから選んだわけではなく講演の中で来場者に気づきや個人の変革が社会に変化を与えるという考えを持った方なので選びました。
- <小野> サテライト会場の各委員会の役割がわかりづらいので教えてください。
- <柿沼> 次回までに追加、修正します。
- <山田> USTREAMの音質、画質に関して詳細を教えてください。
- <柿沼> 画像、音質の品質は問題ないです。
- <新妻> 講師依頼承諾書とタイムスケジュールの講演時間の差は何ですか。
- <柿沼> 様々な状況を想定して10分多い契約を結んでいます。
- <木村> 常任理事会で講師が替わってから何回委員会をやっていますか。
- <柿沼> 委員会は1回ですがスタッフは数え切れないほど集まっています。
- <木村> 場所、講師が替われば警備、告知、講師の対応が変わります。議案を通すためだけでなく実際の担当を巻き込んだ議案にしてください。
- <篠原> ポスター、横断幕にJCIマークを入れてはどうか。

- <柿沼> 委員会でも入れる方向で考えています。
- <鈴木> サブ会場について良いと思いますが、担当など精査してください。
- <須山> 私はサブ会場に反対です。1000人を超えたらこうしようというのは、明確でない。1200人呼ぶのであれば会場を変えるべきです。1000名で行くのならば1000名の告知計画で行くべきです。3月の時にもチャレンジの話をしていますが、今回の部分がチャレンジをしていますか。
- <柿沼> 3月の例会のアンケートの中に、何事も行動を起こしていくという意識の醸成ができましたかという質問に対してわずか10パーセントの人しかできたと答えてもらえませんでした。今回、委員会ではこの意識の改革というものに挑戦しようと思ひまして講師に茂木先生を選んでおり、ただ聞くだけの講演会にならないようにしたいと思っています。
- <須山> 今の答えを踏まえて、委員会としては何を伝えたいですか。
- <柿沼> 新しい未来を切り開くのはすべて自分次第ということでもあります。
- <増淵> 個人の成長なくしてコミュニティーの成長はないということです。であるならば、一人ひとりに意識の醸成をしてもらって、一人でも多くの人が行動するという事に挑戦したいと思っています。
- <須山> 議案に反映されていないのでシナリオを精査して講師の先生ともよく打ち合わせをしないと、今のままではただ聞くだけの講演になってしまうと思います。その部分を手厚くしていかないと3月の講演と違いが見えませんが冒頭にも言いましたがUストリームに関してはかなり博打だと思います。費用対効果も悪い。20万円くらいかかるのではないですか。であるならば、違う会場を探した方が良いにではと思います。会場がないのであれば日にちを変更してもよいと思います。何を優先するのかを考えていただければと思います。

協一4 2015年度 新入会員認証（案）承認について
協議資料に基づき、佐藤副委員長より上程文の読み上げ

- <篠原> 差し替えた議案に誤字があります。
- <佐藤> 直前で指摘いただいております。修正をふまえて協議をお願いします。

- <金> 今回はじめてのことではないですからしっかりと確認してください。次回からは取り下げます。
- <佐藤> 推薦理由書を修正したうえで審議格上げしたいと思います。
- <金> ただいま佐藤副委員長より審議格上げの動議がかかりました。セコンドなさる理事の方は右手挙手にてお願いします。鈴木常任、中島副理事長。それでは審議格上げの決を取ります。賛成に方は右手挙手をお願いします。反対の方。白紙の方。評決をお願いします。
- <飯沼> 賛成が31、白紙が一票です。
- <金> 賛成多数で可決いたします。白紙の理由を聞かせてください。
- <羽石> 篠原委員長の意見がもっともだと思った次第です。

協-5 10月 まちづくり例会 開催計画並びに予算（案）について
 協議資料に基づき、板林副委員長より変更点の読み上げ

- <金> 審議事項の時からの変更点はございますか。
- <板林> 審議議案の時より変更ございません。
- <宮林> 学校への告知について計画に無理はないですか。
- <飯塚> 教育委員会を通して中学校にポスター、チラシを配布する予定ですが小学校にも教育委員会を通じて一斉に配布したいと思います。
- <宮林> わんぱく相撲の経験から500人の子どもを集めるには各団体との密な関係が必要となりますのでぜひ頑張ってください。
- <羽石> タイムスケジュールについて、受付からのメンバーの動きについてご検討ください。当日、市内で行われる他のイベント会場にてチラシを配るのであれば、時間的なことを含めもっと効果的になると思いますのでご検討ください。プレスリリースに関しても後援予定が未定となっていますが、集まっているものを記載してください。出向者会議資料は配るのであれば審議資料に入れてください。題名に関して地域を巻き込む

のであれば10月まちづくり例会ではなく、JC側からのものにならないようにしてください。ポスターについて共催の表記について共催の意味をもう一度考えてみてください。

<木村> ハロウィンの提灯について終わった後の活用方法について、商店街に寄贈するのはどうか。

<篠原> 記念写真をホームページからダウンロードできるというのはコンプライアンスとしては大丈夫ですか。

<金> まず、どのような形でダウンロードできるようにしようとしているのかを教えてください。

<板林> 各例会で報告の時に載せているような状況でそのままダウンロードと考えております。

<豊崎> それであれば問題ございません。

<金> 審議対象資料13番、24番に関しては同じような内容ですがどちらをお使いになりますか。

<板林> 13番を使用し24番は削除いたします。

<金> フェイスブックの写真利用ということで参考資料の34番にありますがこちらは新しいものになるのでしょうか。

<板林> 新しいものを掲載いたします。

<小瀧> ポスターについて仮装大歓迎とありますが規定はありますか。申し込みにある300名と200名の根拠は何ですか。

<板林> ハロウィン仮装とかえさせていただきます。

<飯塚> 200名、300名の根拠は中心市街地には当日多数のイベントが開催されていて、当日の来場者が参加できるように事前申し込みと分けました。

<飯沼> 今後の上程スケジュールはどのように考えていますか。

<廣田> 10月の事業なので皆さまには大変申しわけありませんが、10月1日法令、10月

6日臨時理事会にて審議をいただければと思います。

<須山> 臨時理事会ということでしっかりと準備してください。無駄なアンダーバーなどフォーマットの乱れを直してください。ポスターも見づらいところがありますので可能であれば修正してください。参考資料の39番は芸術的な資料ですが、どなたが作ったのですか。

<板林> 廣田副理事長です。

<須山> すごくマニアックでこれを見ながら2,3時間お酒を飲めそうな表ですが、汎用性が少し低いかと思います。この辺もぜひ、次回までに精査していただいてブラッシュアップをしていただければと思います。

13. 審議事項

審-6 11月 対内研修事業開催計画並びに予算(案)承認の件について
亀井副委員長より上程文の読み上げ

<須山> 国史会議との連携になりますのでこの場でどのようにといわけにはいきませんが、確認して変更するのであれば変更するということを踏まえて審議に移りたいと思います。それでは11月対内研修事業開催計画並びに予算(案)について賛成の方は右手挙手にてお願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<亀井> 全会一致を持ちまして審議可決といたします。

審-7 2015年度 新入会員認証(案)について
佐藤副委員長より上程文の読み上げ

<須山> 今日鈴木さんと、先ほど理事長面談をしまして今まで残っていただいて、とても勇気ある行動ですから皆さん拍手を。せっかくですから自己紹介をどうぞ。

<鈴木> 成城建設の鈴木と申します。私、面談のまま来てしまいまして周りを見ると私だけジャケットを着ていないのでお恥ずかしいところではあるのですが、今後ともよろしく申し上げます。

<須山> 先ほど羽石常任から白票が出ましたけれども、別に鈴木さんが嫌で挙げたということ

はありませんので、そこは勘違いなならないように、拡大委員会の対応ということに対してのものですからね。それでは審議に移りたいと思います。新入会員認証(案)承認について、賛成の方は右手挙手にてお願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<須山> 全会一致を持ちまして審議可決とさせていただきます。それではこれからの拡大の意気込みをお願いします。

<菅沼> 目標の30名まで残り2名となっております。拡大委員会としても頑張っておりませんが皆様からもビジターの紹介を是非よろしくをお願いします。

<須山> 新しい仲間が3名増えました、残り2名で目標の30人となりますが、30人といわず35人、40人となっていければと思いますので、引き続きのビジターのご紹介をよろしくをお願いします。

15. 報告依頼事項

報-1 2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報-2 2015年度 対外出向者について

<金> ご一読ください。

報-3 会費納入状況について

<豊崎> 添付資料をご確認ください。

報-4 特別会員入金状況について

<豊崎> 変更ございません。

報-5 9月ビジター報告について

<小瀧> 青少年ダンス例会と50周年準備事業にビジターの方がいらしてご一読ください。

報-6 ビジター名簿について

<小瀧> 今年度まだ3か月ありますので全力で拡大をしていきたいと思いを。

報-7 オブザーバーの出席者確認

<飯沼> 遅れてみえたオブザーバーの紹介をいたします。法令会計審査局、大塚孝典君、宮まつり委員会、大竹弘倫君、会員拡大特別委員会より本日認証となりました鈴木大輔君、安生文明君、永島祐二君がいらしております。

報-8 山田委員長より10月全国大会関連事業の案内。

報-9 飯沼事務局長よりアジェンダについて期限の厳守と差し替えの場合の対応の徹底のお願い。

16. 監事講評

<篠崎>

私、久しぶりに理事会に参加させていただきまして、楽しみにしておりました。なぜかというところと多くのオブザーバーがいらしている状況で開催する理事会ということで本日見てきまして、総務委員会としては全国大会開催中のアジェンダアップ今日に臨んだわけですが、次年度も重なってきている時期ということもあるかもしれませんが、ちょっと酸素が足りないというか、池の中でパクパクやっている状態なのかなと思いました。そしてこの中でいいますと、苦手意識が出てしまっているのかなと思いました。議案を計画するにあたって、これは決まりきったこと、どうしてもやらなければならないことが、恋煩いようになってしまって、通常であればこんなミスをしないうところで、つまらないミスをしてそこから波及してしまう。そのようなところが見え隠れした本日の議案でした。どうしても議案というのは向き合わなければならないものなので、恋仲のようにお互いに慕ってやっていけばいいと思います。今を戦えないものは未来も戦えないといいますが、とりあえずやりましょう、そして2016年度に向かって報告してつないでいく。そんな今年度でなければいけないと思います。そして、残り数か月、会員拡大に関しましても3か月あるといっても11月には最後の入会とかになってくると思いますので、今が重要になってくると思います。皆様にも最後のご尽力をお願いしたいと思います。今日の様子を見ていても元気がないので、真剣に取り組みつつ楽しくやっていって集大成を見せることができることをご祈念申し上げまして監事講評とさせていただきます。

17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所
2015年度 第9回理事会議事録

議 長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：須 山 裕 史
篠 崎 達 彦